

子育ての悩みに寄り添う絵本

子育てと絵本 vol.22

子どもたちが大好きな定番の遊び、かくれんぼ、追いかっこ、鬼ごっこ。かくれんぼは、鬼の役割の子が隠れている子を探していくという簡単なルールの遊びですが、工夫をこらして隠れるワクワク感と見つかるのを待つドキドキ感は、まさにプレイフル(遊ぶ喜びいっぱいの状態)な経験です。

遊びに必要な三間、「時間」「空間」「仲間」。隠れる時間、見つける時間、ドキドキの時間。そしてゆとりの空間でのかくれんぼ。仲間や信頼している大人とのかくれんぼでは、隠れていても探してもハラハラしていても、何だか安心なのです。

絵本「うずらちゃんのかくれんぼ」。うずらちゃんがひよこちゃんとかくれんぼをはじめました。じゃんけんぽん!。うずらちゃんやひよこちゃんと一緒に、絵本の中で探したり隠れたり、楽しいかくれんぼ遊びができます。

遊び その5 「かくれんぼ遊び」

最後にはお母さんたちが迎えに来てくれて、安心して読み終わります。子どもたちは安心感があるからこそ、さまざまな遊びを自ら展開していけるのです。

「もりのかくれんぼ」。きんいろにけむったようなあきのもりー。自然が作り出すまばゆい光彩の中でのかくれんぼ。隠し絵の巧みさに加え、遊びを楽しんでいる動物たちの豊かな表情やポーズに引き込まれます。これらのかくれんぼ絵本は、子育て中の親世代が幼少の頃から30年40年ものロングセラーで読み続けられています。

かくれんぼが教えてくれること、それは社会性や考える力、忍耐力や遊び心など。そして「もういいかーい」「ま〜だだよ〜」と大声を交わすことで、呼吸筋や腹筋の活性化とともに、緊急の場面で危険を大人に伝える練習としても役立ちます。隠れるために体を安定化させる力も育ちます。

かくれんぼには安全な環境も必要です。私たち大人は、子どものやりたい気持ちを大切に、子どもたちが安心して没頭して遊べる安全な環境をつくり、守っていききたいものです。

今回ご紹介する絵本



うずらちゃんのかくれんぼ
作 きもと ももこ
福音館書店



もりのかくれんぼ
作 末吉 暁子
絵 林 明子 偕成社

子育てひろば「めぐみ」代表 弘田 恵子
1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。絵本講師(NPO法人「絵本で子育て」センター認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター